

第三セクター等経営健全化方針

1. 作成年月日及び作成担当部署

令和 6 年 3 月 3 1 日 高知県北川村経済建設課

2. 第三セクター等の概要

法 人 名 一般社団法人 北川村振興公社

代 表 者 名 山 上 浩

所 在 地 高知県安芸郡北川村大字野友甲 1530 番地

設立年月日 令和元年 8 月 1 日

資 本 金 72,000 千円【北川村の 100%出資】

事 業 内 容 農業水産業の担い手確保及び就農支援に関する業務
農業水産業の経営

再生可能エネルギーを活用した発電施設の設置及び運営業務

公共施設の管理運営業務

その他この法人の目的を達成するために必要な業務

3. 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

(1) 経営状況、財政的なリスクの現状

一社) 北川村振興公社の経営状況は健全であり、北川村から受け取った設立拠出金(公社は基金扱い)を運転資金として、設立時から主な事業として実施している水道施設管理及び公営住宅管理(村からの受託業務)から得る収益を経営基盤としている。

したがって、財政的なリスクは現状で特に発現していない。

(2) 地方公共団体の財政支援、監査、評価の実施状況

北川村の財政支援としては、設立拠出金があり、その他の財政的な支援は発生していない。

通常社員総会は定款に則り、事業年度(当年 4 月～翌年 3 月末)について 5 月末に開催され、当該年度の決算報告および翌年度の事業計画と収支計画が審議される。

令和 4 年度に関する通常社員総会は令和 5 年 5 月 30 日に開催され、決算監査報告書に基づき令和 4 年度の決算報告書が承認された。

なお、本決算報告書は北川村 6 月定例議会に提出され、北川村村長より説明が行われた。

4. 抜本的改革を含む経営健全化の取り組みに係る検討

(1) 再生可能エネルギー施設整備事業への取り組み

北川村は令和5年4月、環境省が進める「脱炭素先行地域」に選定され、村内全域について民生部門の電力消費に伴うCO₂排出の実質ゼロの実現に向けて取り組んでいる。

主な再エネ施設整備は小水力発電施設（4ヶ所）と公共施設への太陽光発電設備および蓄電池の設置であり、一社）北川村振興公社は事業実施母体（運営含む）として機能を果たすことが期待されている。

このような状況下、今後、一社）北川村振興公社は北川村から関連事業の受注および交付金受け入れを積極的に行い収益基盤を強固にしてゆく必要がある。

(2) リスクの有無

環境省の「脱炭素先行地域」に選定されたことを受け、北川村が実施する再エネ施設整備費用については国より2/3～3/4の補助金が交付されるため、完成後の事業性に特にリスクはないものと判断される。

したがって、一社）北川村振興公社が事業運営の受け皿となった場合、高い事業収益性を確保しつつ、更なる経営基盤の強化が図られる。

しかしながら、再エネ施設整備は環境省に提出した事業計画に基づき確実な実施が求められており、進捗の遅れなどの想定外の事象には留意が必要である。

5. 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

再生可能エネルギー施設整備事業の進捗実績

北川村による、環境省の「脱炭素先行地域」の取り組みは、ほぼ事業計画とおりに進捗している。

一方、一社）北川村振興公社は本事業に関連して、北川村公共施設への太陽光発電設備および蓄電池設置に係る詳細設計業務ならびに小水力発電施設整備修正設計業務を受注し、現在業務を遂行中である。

6. 法人の財政状況（参考）

○貸借対照表から			
項 目	金 額 (円)		
	R2	R3	R4
資産合計	69,947,739	69,628,061	70,368,754
うち流動資産	64,948,670	65,123,275	66,285,243
うち固定資産	4,999,069	4,504,786	4,083,511
負債合計	71,746,019	72,826,404	73,262,872
うち流動負債	71,746,019	72,826,404	73,262,872
うち固定負債	0	0	0
正味財産合計	△ 1,798,280	△ 3,198,343	△ 2,894,118
負債および正味財産合計	69,947,739	69,628,061	70,368,754
○損益計算書から			
項 目	金 額 (円)		
	R2	R3	R4
経常収益	586	5,659,849	21,538,559
経常費用	1,798,866	6,802,758	21,496,133
当期経常増減額	△ 1,798,280	△ 1,142,909	42,426
経常外収益	0	0	0
経常外費用	0	0	95,100
当期経常外増減額	0	0	95,100
当期一般正味財産増減額	△ 1,798,280	△ 1,142,909	△ 52,674
当期指定正味財産増減額	0	0	0
項 目	金 額 (円)		
	R2	R3	R4
収益計	586	5,659,849	21,538,559
費用計	1,798,866	6,802,758	21,591,233
増減額	△ 1,798,280	△ 1,142,909	△ 52,674